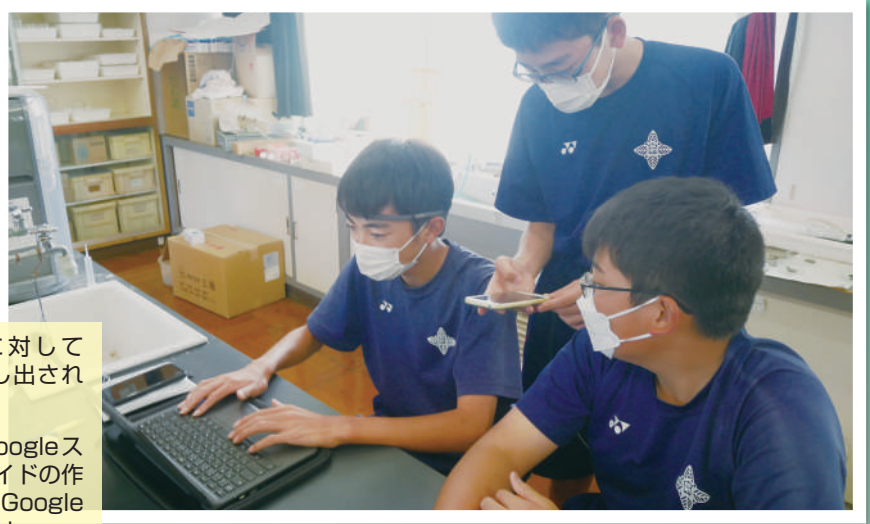


# ICT 教育環境

## クロームブック Chromebook



附属中学校では、茨城県から生徒一人一人に対して Chromebook（クロームブック）という端末が貸し出されています。

授業の調べ学習、各教科で課題の配信や提出、Google スライドを活用してプレゼンテーションの資料やスライドの作成、サイエンスリテラシーのポスター作成、Google classroomでの学級連絡など、積極的に使っています。



ET（イングリッシュタイム）で英語検定の練習、オンライン交流など、幅広い場面で活用しています。（写真はR5年度福井県勝山市立勝山北部中学校とのオンライン交流会）



クロームブックを使って、調べ学習やプレゼンテーション資料、ポスター作成などを行っています。データを共有し、複数人で同時に作業を行うこともできます。



ワイド（プロジェクター）、電子黒板などを授業で積極的に活用。動画や写真、資料などを分かりやすく提示しています。

## 生徒メッセージ

### 第1学年 鴨志田 空澄（リリーベール小学校出身）



私には、将来麻酔科医になり人の命を救うという夢があります。この夢を叶えるには理系の勉強が必須です。そのため、SSH指定校であり国際教育にも力を入れているこの日立一高附属中に進学することを選びました。

附属中には、様々な実験器具が揃っており、充実した環境の中で研究に取り組むことができます。また、他校では行わないような実験もできるのでとても楽しみです。グローバルコミュニケーションの時間には、スピーチやプレゼンテーション、ディスカッションなどを行い、人前で話す力を身に付けます。

これらの科学教育や国際教育は、これからの未来を生きていく上でとても大切なことです。また、附属中生は個性的でユーモアがあり、クラスの雰囲気がとても良いです。このように、附属中は自分の夢や目標の実現に向けて着実に進むことのできる最高の学び場です。

皆さんも、附属中で高い志を持った仲間たちと切磋琢磨し、夢に向かって大きな一歩を踏み出しませんか？私たちと一緒に未来を切り開いていきましょう。



### 第2学年 小泉 ころこ（日立市立大沼小学校出身）



「医療系の仕事に就いて、たくさんの方の命を救いたい。」これは私の夢であり、私が日立一高附属中を志願した理由でもあります。

日立一高附属中は、とても充実した科学教育を受けることのできる学校です。SSHの指定校である日立一高と連携し、実際に高校生の研究会に参加したり、研究者による講演を聴いたりすることができます。中学生のうちから、将来なりたい自分をイメージすることができ、それを起点に自分の進路に向かって進んでいく高校生を間近に感じることは、とても心強いものがあります。

また、附属中生はまさに十人十色です。皆がそれぞれ違った個性を持っていて、それを強みに日々生活しています。そんな仲間と切磋琢磨し合いながら過ごす学校生活は、毎日、とても刺激があります。

皆さんも、私たちとともに、日立一高附属中学校で、自分の夢に向かって充実した毎日を過ごしてみませんか。



### 第3学年 山形 柚奈（日立市立大久保小学校出身）



皆さんは夢がありますか？私が小学生の時は、まだなりたい職業が決まっておらず、将来のことはぼんやりとでしか考えていませんでした。そこで、将来の選択肢を増やしたいと思い、附属中に入学することを決めました。

入学してみると、レベルが高く、個性豊かな仲間がたくさんおり、お互いに切磋琢磨することができます。附属中では、数学と英語の先取り学習、サイエンスリテラシーなどの科学教育、グローバルコミュニケーションなどの国際教育などがとても充実しており、自分の視野の考え方を広げることができます。また、「文武両道」の精神を掲げているため、勉強だけでなく部活動もみんな一生懸命頑張っています。

このように、附属中ではとても楽しい学校生活を送ることができます。夢がある人もない人も附属中で自分を高めていきませんか？

